

# MOTOYAMA



Public Relations Motoyama 2025 vol.265

広報もとやま



本山町の情報をお届けします  
Kochi e-books

6月号

昭和40年代の本山町の風景

(P2～5 町制施行115周年・新町合併70周年・嶺北中央病院創立80周年に特集記事を掲載)

# 町制施行115周年・新町合併70周年

## 『町制施行115年・合併70周年を迎えて』



本山町議会 議長 岩本 誠生

昭和100年の今年、本山町制施行115周年、吉野村との合併70周年を迎えました。

明治・大正・昭和・平成・令和と継承されてきた本山町の歴史や文化を振り返り、次代を考えることは意義深いことであると思います。

幾多の先人たちは、これまで厳しい苦難を克服し、激動する社会情勢を乗り越えて本町の歴史を作り上げてこられました。そのことに感謝しながら、3000人を割る寸前まで人口が減少した現実を直視しなければなりません。

このままでは、地域が疲弊し、縮みすぎてしまいます。この危機を脱却するためには多様な施策が必要であります。

議会も執行部も町勢復興のため全力で取り組まなければなりません。「温故知新」町民の皆様とともに、素晴らしい本山町の歴史と文化を後世に引き継ぐために…。

## 『町制施行115周年、合併70周年ごあいさつ』



本山町長 澤田 和廣

本山町は、明治43（1910）年6月1日に町制を施行してから115周年、吉野村と旧本山町が昭和30（1955）年4月に合併して70周年の節目の年を迎えました。

この間、明治から令和まで激動の時代を歩み、長い歴史を刻む中で、多くの先覚の士を生み出すとともに、幾多の苦難に直面しながらも、基幹産業である農畜林業を中心とした産業振興を進めるとともに、今年80周年を迎えた嶺北中央病院を核として、保健・医療・福祉の充実、教育文化・子育て支援による人材育成等に取り組んでまいりました。

地域づくりへの熱い想いと、町政の発展にご尽力いただいた先人の皆様に対し、深甚なる敬意と深い感謝を申し上げます。

今、地方は人口減少による過疎化と少子高齢化という大きな課題に直面しています。私たちは、先人の皆様が脈々と築き上げてきた、「水と緑・花と文化のまち本山町」を受け継ぎ、そして、次の世代へと発展させていかなければなりません。本山町に住んでいる方々、本山町をふるさとに持つ方々にとって誇りに思えるまちづくりに、町民の皆様と共に取り組んでまいりたいと存じます。

## 本山町のあゆみ

- 明治43 「本山村」が「本山町」となる
- 大正2 高知区裁判所本山出張所設置
- 3 本山町区長制実施
- 昭和5 本山町立図書館落成
- 20 新生婦人会・青年団発足
- 22 本山町教育委員会発足
- 25 本山保育園開園
- 28 嶺北高校開校
- 30 新「本山町」発足（本山町と吉野村が合併）
- 31 嶺北統一メーデー発足
- 34 東大橋落成、本山町役場庁舎落成
- 36 本山中央公民館新築
- 39 本山郵便局舎完成移転、東部保育所開園
- 40 本山簡易水道完成
- 41 福祉センター完成、本山三島線完成
- 43 本山町体育会結成
- 44 第一回本山町内駅伝大会開催
- 45 学校給食センター開業
- 48 嶺北消防組合設立、早明浦ダム完成
- 51 本山町商工会館落成
- 54 嶺北広域行政事務組合発足
- 57 吉野小学校新校舎落成
- 59 第一回町民総スポーツ大会開催
- 61 第一回汗見川清流マラソン大会開催
- 平成2 本山町歌・音頭が決定
- 3 社会福祉法人本山育成会しやくなげ荘開所  
大原富枝文学館、プラチナセンター開館

## 明治43年町政施行

明治43（1910）年6月1日、町政が施行され、当時の人口は1,600人、世帯数は300戸でした。本山町は美しい自然に恵まれ、歴史的にも多くの偉人を生み、嶺北地域の政治・経済・文化の中心として栄えてきました。

昭和28（1953）年9月1日には「町村合併促進法」が公布され、さまざまな議論の末、本山町と吉野村が合併し、昭和30（1955）年4月20日、新しい本山町が発足しました。この合併により、人口は10,042人、面積が156・18平方キロメートルとなり、産業道路の開発や社会施設の建設、市街地の振興などを図ってきました。

長い月日とともに老朽化した役場庁舎は、令和5年4月1日に嶺北中央病院西側へと移転し、議会事務局、健康福祉課なども本庁舎に集約、市民ホールやキッズスペースなどさまざまな機能がそろう、より町民の方にご利用いただきやすい役場へと生まれ変わりました。



明治41年に建てられた役場



本山～高知間を運行した自動車バス（大正9年頃）



土佐天空の郷初出荷式（平成21年）



役場新庁舎（令和5年）



大原富枝文学館落成式（平成3年）



本山町立図書館落成（昭和5年）



新本山町開町式（昭和30年）

- 4 本山町消防団一〇〇周年
- 右城暮石先生帰郷記念全国俳句大会
- 第1回大原富枝賞
- 6 本山町農業公社設立
- 7 汗見川へき地診療所開設
- 11 北海道浦臼町と友好交流町調印
- 12 大原富枝氏が名誉町民表彰を受ける
- 12 本山町保健福祉センター完成
- 14 山原健二郎氏が名誉町民表彰を受ける
- 14 吉野クライミングセンター完成
- 17 本山さくら市オープン
- 19 嶺北中学校開校
- 20 もとやま元気クラブ設立
- 21 汗見川枕状溶岩が天然記念物高知県指定となる
- 21 ブランド米「土佐天空の郷」出荷開始
- 22 本山町制施行一〇〇周年
- 22 宮田光雄氏が名誉町民表彰を受ける
- 23 「日本で最も美しい村」連合に加盟
- 24 汗見川ふれあいの郷清流館が県内初の集落活動センターとして始動
- 28 白髪山八反奈路根下がりヒノキ群生地が天然記念物高知県指定となる
- 29 奥工石山（竜王山）の紅簾石珪質片岩大露頭部が天然記念物高知県指定となる
- 令和元 モンベルアウトドアヴィレッジ本山オープン
- 3 集落活動センターなめかわ開所
- 4 本山バイオマス発電所、次世代型園芸施設始動
- 5 役場新庁舎完成
- 6 三愛オブリとの「協働の川づくり協定」を締結
- 6 高知大学・JICAとの三者連携協定を締結

# 1999

(平成11年 嶺北中央病院新本館竣工 (右側))



1995  
(平成7年)

- へき地中核病院指定

1999  
(平成11年)

- 病院本館竣工 (現在の嶺北中央病院が完成)  
【一般病床111床、結核病床20床】

2000  
(平成12年)

- 人工透析開始

2002  
(平成14年)

- 院外処方開始

2003  
(平成15年)

- へき地拠点病院指定

2006  
(平成18年)

- 土曜診療開始

2009  
(平成21年)

- 一般病床52床 (3階) を療養病床に転換  
【一般病床59床、療養病床52床、結核病床20床】

2015  
(平成27年)

- 地域包括ケア病床を7床運用開始

2016  
(平成28年)

- 結核病床廃止  
【一般病床59床、療養病床52床】

2016  
(平成28年)

- 電子カルテ導入

2017  
(平成29年)

- 病床数変更  
【一般病床55床、療養病床44床】

2018  
(平成30年)

- 地域包括ケア病床を9床に拡大

2025  
(令和7年)

- 創立80周年

# 1973

(昭和48年 嶺北中央病院本館竣工)



院長あいさつ

## 『80周年 ごあいさつ』

本山町立国保嶺北中央病院

院長 佐野 正幸



当院は、昭和20年に開院し、本年で80周年を迎えることとなりました。これまで当院の発展に多大なご尽力を賜りました皆様に心より深く感謝申し上げます。

現在、常勤医師は内科と外科のみですが、高知大学、高知医療センター等と連携し、整形外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、放射線科、循環器内科、呼吸器内科の外来診療を行い、入院診療では患者のコンサルテーションを行うなどの治療に当たっています。

患者さんの希望に沿って、住み慣れた自宅で生活ができるように訪問診療や、訪問看護ステーションさくら、通所リハビリテーションも併設しています。また、汗見川診療所、大川村国保小松診療所にも医師と看護師を派遣しています。

本山町唯一の医療機関、嶺北地域唯一の救急病院として、住民の皆様が、安心して地域で生活し続けることができるように、職員一丸となって、対応させていただきますので、今後も変わらぬご支援ご協力よろしくお願いいたします。

# 嶺北中央病院 創立80周年

## 長く待たれた総合病院の開設

本山町では昭和19(1944)年に国民健康保険組合を発足させ、翌年から病院の設立準備が始まりました。戦時中に無医村となっていたため、待ちに待った総合病院の開設となりました。

昭和20(1945)年4月1日「日光寮」を開設。命名の由来は、病院が本山町で最も日照時間の長い場所に建てられたこともあり「日光がさんさんと差し込む明るい病院」であることと、田井村の川田病院の設備一式を譲渡していただいた、川田晃さんの晃の文字を表したものです。

昭和30(1955)年3月の火災により全焼したものの、同年8月には復旧し、新病棟、結核病棟も増設されました。

昭和37(1962)年の本館建築により、日光寮から名称を改め「嶺北中央病院」となりました。

そして平成11(1999)年新設病院は地下1階、地上5階建て、延べ床面積は以前の約3倍となって生まれ変わり、町民の医療を支え続けています。

1944  
(昭和19年)

●国民健康保険組合の発足により病院の設立準備開始

1945  
(昭和20年)

●帰全病院設立許可申請、同年4月に国民健康保険組合病院日光寮と改称して病院を開設

1951  
(昭和26年)

●本山町営となり、本山町立国保健康保険組合日光寮と改称あけぼの病棟建築(昭和29年3月全焼)、産科病棟建築(昭和47年10月取り壊し)

1954  
(昭和29年)

●8月に災害復旧事業により、あけぼの病棟復旧(一般病床50床)(昭和47年10月取り壊し)

1955  
(昭和30年)

●さつき病棟建築(結核病床40床)(昭和59年7月取り壊し)

1960  
(昭和35年)

●第2病棟建築(昭和58年2月取り壊し)

1962  
(昭和37年)

●診療病棟建築(昭和48年9月取り壊し)

1962  
(昭和37年)

●本山町立国保健康保険組合日光寮から本山町立国民健康保険嶺北中央病院に改称

1973  
(昭和48年)

●病院本館竣工(一般病床107床)(平成12年取り壊し)

1983  
(昭和58年)

●病院別館竣工(現在の西館)

1991  
(平成3年)

●救急病院指定

1992  
(平成4年)

●結核病棟20床減床

1993  
(平成5年)

●在宅訪問看護開始

1956

(昭和31年 日光寮職員一同)

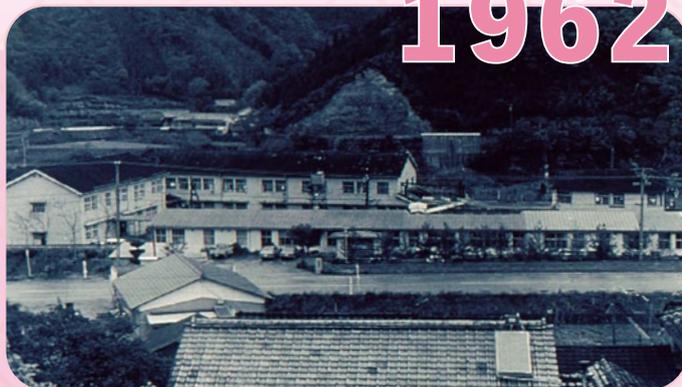


1954

(昭和29年 あけぼの病棟)



1962



(昭和43年頃 左側の2階建てが昭和35年建築の第2病棟、手前の平屋建てが昭和37年建築の診療病棟)



友人の赤ちゃん

PEN  
RELAY  
No.32

私は、町内にあります鮎屋「いち松」を母と二人で営んでいます。父の仕事の都合で、大阪府堺市で生まれ育ちました。中学校を卒業後は、少しでも早く手に職をつけたいとの思いがあり、静岡県の浜松市にあります「いち松鮎」で15年程修業をしました。釣りが趣味だったた

この道38年  
自慢の鮎をみなさんに

はしりで  
走出 直也さん



休日はゴルフを満喫



日本三大怪魚のアカメ

め、自分で釣った魚を料理して提供したいと思  
い、この道を選びました。  
修業を終え、母の故郷であった本山町に移  
り、祖父が経営していた建築事務所を改装し  
て、現在の「いち松」となり、おかげさまで創  
業23年を迎えました。  
休日、趣味である釣りのため早朝から海に  
出かけたり、ゴルフなども楽しんでます。多  
肉植物を育てることもハマっていて、部屋の  
中はたくさんの植物に囲まれています。  
最後に、花嫁大募集中です！われこそはとい  
う方は、ぜひお待ちしております。



自作の剥製を背に

趣味は？

釣り、ゴルフ、プラ  
モデル、多肉植物

次号は、走出  
さんからご紹介  
いただいた山下  
寛一さんです。

天空の里演奏会

3月24日（月）高齢者施設「天空の里」地域交流ホールにて、嶺北中・高等学校吹奏楽部の生徒・職員の方による演奏会が行われました。コロナウイルス感染症の影響で、こういった交流ができたのは5年ぶりとなりました。

演奏された曲目は『ふる里（童謡）』『川の流れるように』『YMCA』など、懐かしい曲ばかりで、利用者の方もいっしょに歌詞カードを見ながら歌ったり、タンバリンなどで音を出して楽しまれていました。

演奏が始まる前は、利用者の方も少し緊張気味でしたが、終わった頃にはすっかり表情が穏やかになり、とても良い時間が過ごせたようでした。



## 令和7年度 人口減少対策総合交付金補助・支援事業等のご紹介

本山町では、Uターンや移住の若者子育て世代が定住しやすいまちづくりを推進するため、補助・支援事業等を実施することとなりました。令和7年度の補助・支援事業をご紹介します。

### ① Uターン引越し支援事業

町出身の新卒者や移住者（34歳以下の単身、夫婦ともに39歳以下の世帯、18歳未満の子がいる子育て世帯）に対して、本町への引越し費用の一部を単身：100,000円、2名以上世帯：200,000円を上限に補助します。



### ② 通勤支援事業

町出身の新卒者や34歳以下の移住者、34歳以下の域外転職者に対して、本町に居住し県内企業等に遠距離通勤する費用として月額10,000円を補助します。

### ③ 資格取得支援事業

町出身の新卒者や34歳以下の移住者が本町に居住し県内の企業等に就業するにあたり、法令等の規定により必要な資格やキャリアアップのための資格等を取得する場合の費用について、一人100,000円を上限に補助します。



### ④ 若者・子育て世帯新築リフォーム促進事業

夫婦ともに39歳以下の世帯や18歳未満の子がいる子育て世帯が町内に住宅を新築または親世帯と同居するためのリフォームを行う場合、一世帯1,000,000円の奨励金を支給します。

### ⑤ 同窓会支援事業

- (1) 町内の飲食店で開催されるもの。
- (2) 出席者が町内の小学校、中学校の卒業年度の同級生等であること。
- (3) 開催の目的を主とする出席者の年齢が、開催日の属する年度の4月2日から翌4月1日までの間に達する満18歳から34歳までで構成されていること。

※その他、出席者に関する要件あり



### ⑥ 結婚新生活支援事業

夫婦ともに39歳以下の方が結婚された場合、新生活のスタートに係る経済的負担を軽減するため、上限300,000円（家賃、引越費用等）を支援します。

※その他年齢(29歳以下)、世帯所得(500万円未満)、親元同居・近居による加算あり

### ⑦ 本山町出身者ネットワーク構築事業

町公式LINEから各種情報を発信し、本山町と登録者のつながりを強めます。また、若者(18歳以上34歳以下)の町公式LINEへの登録を促すため、地場産品を活用したふるさと小包を新規登録者にお送りします。



### ⑧ 自営業・フリーランス等出産育児支援事業

本町に居住する自営業やフリーランス等で生計を立てている世帯において出産した場合の出産手当金に準ずる応援金を支給します。併せてその世帯の生計維持者が育児休業される場合には育児休業手当に準ずる応援金を支給します。

### ⑨ 男性育休取得促進事業

本町に居住する男性が育児休業を取得した場合、期間に応じた奨励金を事業主に支給します。



### ⑩ 出会いのきっかけ支援事業

本町に居住する39歳以下の方が「高知で恋しよ!!マッチング」へ入会申込をした場合の費用10,000円を上限に補助します。

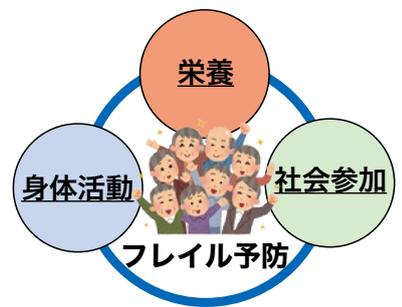
#### ●各事業の問い合わせ先

- ①～⑦ 政策企画課 ☎ 76-3915
- ⑧～⑨ 住民生活課 ☎ 76-2115
- ⑩ 教育委員会 ☎ 76-3913



本山町政策企画課  
友だち募集中!

# フレイルと運動について



## 「自宅でも運動に取り組んでみよう！」

加齢によって筋力が低下すると、つまずきやすい、転倒しやすいなど生活に支障が現れます。筋肉量を増やし活力ある毎日を送るには、日々のトレーニングが欠かせません。

筋肉は上半身より下半身のほうが早く衰えるといわれています。歩行機能やバランス能力を保ち、転倒を防止するためにも、下半身を中心に鍛えましょう。

自宅でも取り組める下半身を中心としたトレーニング方法と注意点を紹介します。

### トレーニングのポイント

筋力をつける方法として、正しい方法で行うことも重要です。また、回数も無理のない範囲に調整し、心地良い疲労感が残る程度でやめておくのがおすすめです。

また、運動前後にはストレッチを行い、身体をほぐすのも良いとされています。筋肉の柔軟性が高まり関節への負荷が減るため、痛みの予防につながります。

#### ☆動作はゆっくりと

1つの動作は3～5秒程度かけて繰り返すのがおすすめです。意識してゆっくりと動くようにしましょう。

#### ☆鍛えたい箇所を意識する

トレーニング中は、動かしている筋肉を意識しましょう。

#### ☆膝や腰が痛いときは無理しない

筋肉をつけることは腰痛や膝痛の改善につながりますが、無理な筋トレや姿勢が間違っていると関節に負荷をかけてしまうため逆効果です。

## 1 立つ動き、階段昇降が楽になります

### 膝伸ばし(ももの前側)

- ①椅子に座り、片足をゆっくり上げ伸ばす。
- ②5秒止めて、ゆっくり下ろす。
- ③右左、片脚ずつ10回を繰り返す。

**ポイント** 高く足を上げることよりも膝を伸ばす意識と下ろす時は「ドスン」と下ろさずにゆっくり下ろしましょう。



### 椅子から立ち座り(ももの前側)

- ①椅子にゆっくり立ったり座ったりする。
- ②ひざがつま先より前にでないようにしましょう。
- ③無理せず10回

**ポイント** 膝に負担をかけないように椅子に腰かけるイメージで、お尻を後ろに突き出して股関節を曲げるようにすることです。



## 2 歩きが元気になります

### つま先立ち(ふくらはぎ)

- ①椅子の後ろに立ち、両手で背もたれを持つ。
- ②かかとの上げ下ろしをゆっくり繰り返す。
- ③両足で10回

**ポイント** 足を肩幅くらいに広げて背伸びをするようにゆっくりかかとを上げてゆっくり下ろします。



### 片足つま先立ち(ふくらはぎ)

- ①壁に両手をついて片足でかかとを上げます。
- ②片足で5回

**ポイント** 自分の体を片足で持ち上げる強度が強いトレーニングです。初めは少ない回数から始めましょう。

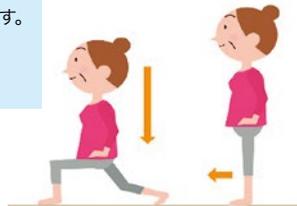


## 3 バランス感覚を鍛えます 転びにくくなります

### 一歩踏み出し(股関節の柔軟性)

- ①足を腰幅に開き、片足を前に一歩踏み出します。(バランスを崩さない程度に)
- ②踏み出した足を元に戻す。
- ③左右の足を変えて5回から10回

**ポイント** 背すじは伸ばしたまま一歩踏み出した足に重心をかけます。膝がつま先より前に出ないようにしましょう。



### 片足立ち(足全体)

- ①壁や机などのそばで行います。片足を上に持ち上げ、10秒静止します。静止後に足を下ろします。同様に、反対側の足も行います。

**ポイント** 背すじを伸ばしたまま片足を床から5cm程度持ち上げます。上げていない足は足裏で地面をとらえている感覚を意識しましょう。



● 問い合わせ先 ○健康福祉課 ☎ 70-1060

## 地域おこし協力隊通信



寮から見える好きな景色

3年目の今年は、地域の方に、小さなことでも「寮があつてよかったなあ」とか「高校生とのつながりができてよかった!」と思ってもらえるように活動していきたいと思っています。これからもよろしくお願いします!



協力隊ホームページ <https://mtymc.wordpress.com/>

こんにちは！嶺北高校の寮、れいほく教育魅力化・交流支援センター（愛称「とり木」）でハウスマスターをしています。金子希です。



【今月の担当】  
ハウスマスター  
かねこ のぞみ  
金子 希

今年で協力隊も3年目。最後の年になります。これまでの2年間、嶺北のみなさまに支えてもらい、寮のスタッフとしてたくさんを経験することができました。一方で、「教育魅力化」というけれど、自分の仕事は本当に嶺北の教育を魅力的にすることができているのか？自分が学ばせてもらうばかりでは？と思うことも増えました。

## 防災コーナー

### 本山町 地域防災計画って何だ？

本山町地域防災計画は、集中豪雨・台風や地震災害等から町民の皆さまの生命・暮らしを守るために、災害等が起きたときに町・県・警察消防・医療機関・地域住民の方々各自が行うべき役割を事前に明確にしておくことで、災害に対応する力を強め、減災することを目的として策定されました。

計画では、風水害対策・地震災害・火災及びその他災害の3つに分けられ、それぞれ予防、応急、復旧・復興の各段階における対応を記述しています。

計画は、本山町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

また、本山町では、自主防災組織・防災士の方々等と連携して各地域の状況に応じた防災計画の策定に向けて取り組んでいます。各家庭でも災害時に備えられるよう、災害用品の備蓄や家庭での対策等を積極的に啓発していきます。

今後、本コーナーを用いて、詳しい防災計画の内容を掲載していきます。

本山町ホームページ 地域防災計画

● 問い合わせ先 ○ 総務課 ☎ 76-2223



# 毎年6月は「食育月間」&「歯と口の健康月間」

歯と口の中の健康は、身体全体の健康につながります。何歳になっても元気で生活するためには、歯と口の健康を保つことが大切です。

～よくかんで健康になろう!!～

かんだり、飲み込んだり、話したりするための口の機能が衰えることを「オーラルフレイル」といいます。食事を通してかむ力を鍛えることでオーラルフレイル予防につながります。

よくかんで食べることには、ほかにもたくさんの体によい働きがあります。普段からかむことを意識して食事をするようにしましょう。

## 肥満予防

- ◎早食い予防
- ◎よくかむことで、満腹中枢が刺激され、食欲が抑えられます。
- ◎ゆっくり味わうことで、薄味・適量で満腹感が得られます。

## むし歯の予防

- ◎よくかんで、唾液を多く出すことにより、むし歯予防につながります。

## 認知症予防

- ◎よくかむことで、脳の働きが活発になり、認知症予防につながります。

## あごの発育

- ◎よくかむことであごの筋肉が鍛えられ、あごの骨を発達させ、歯並びや表情をよくします。

目指せ!!

**1口30回!**



◎本山町食生活改善推進協議会では、毎年6月を「食育月間」とし、毎月19日を「食育の日」「家族そろっていただきますの日」として、できる限り地域の食材を使い、家族で食事の準備をし、家族そろってゆっくり食事をいただき、食育について考え、実施する日としています。

皆様も家族そろって食卓を囲み、自然の恵みに感謝して家族団らんを楽しまれてはいかがでしょうか? 《本山町食生活改善推進協議会》

## ご存じですか?アルコール関連問題は、飲酒をしていれば誰にでも起こる可能性があります

本山町では毎年、中・高校生・消防団を対象にアルコールに関する健康教育を実施しています。アルコールによる健康障害や社会的影響を含めたアルコール関連問題を予防するために、飲酒をされる方は、過度な飲酒を避け、週に2日は休肝日を設けましょう。また、無理に飲酒を勧めることは止めましょう。



吉野分団への健康教育の様子

### アルコール関連問題とは?

アルコールによる健康障害、アルコール依存症、20歳未満の飲酒、妊婦の飲酒、暴力・DV・虐待、飲酒運転などの問題のすべてを言います。

問題は飲酒する当人に限らず、当人を取り巻く周囲の人々や親の飲酒を受けた胎児、子どもなどにも広がっています。



● 問い合わせ先 ○ 健康福祉課 ☎ 70-1060





## 第32回右城暮石顕彰吉野川全国俳句大会

4月13日(日)第32回右城暮石顕彰吉野川全国俳句大会がプ  
ラチナセンターで開催され、県  
内外の俳句愛好家約一〇〇人が  
参加しました。

記念講演「令和版・俳句漂流  
記」では、俳誌「円錐」の山田  
耕司氏が、中世末期の俳諧の連  
歌から明治以降の俳句の確立に  
至るまでを、分かりやすい言葉  
でユーモアを交えて解説され、  
会場は笑いに包まれました。

季語を用いず、季語と同等の  
心の動きを中心に据えて作句す  
る「無季俳句」にも触れ「戦争  
が廊下の隅に立っていた」で知  
られる渡邊白泉らが紹介されま  
した。

表彰式では和やかな雰囲気  
なか、入賞者に惜しみない拍手  
が贈られました。



お孫さんから花束を贈られる受賞者

## ～ 町内入選者の皆さん、入賞おめでとうございます ～

### 【県内学生の部 入選】

わたしはね一本桜で一枚ですよ

本山小学校1年 川井一枚

新春のだるま夕日をシャッターに

嶺北中学校3年 山下希乃香

ソーダ水くると回す赤のペン

嶺北高等学校1年 森万佑子

初詣亡き祖父思ふ父の顔

同 1年 吉田滋海

冬木立夜空の星に手をのぼす

同 2年 窪田啓希

パドル漕ぐ湖面に映る夏の天

同 2年 松崎未桜

紅葉の色がつきゆく水鏡

同 1年 西村亮祐

初茜眺む横には母の笑み

同 1年 中尾朱里

誘われて筍採りにひとつ飛び

同 2年 山中優菜

無造作に降ろした髪に若葉風

同 2年 島 恭介

紫陽花に滴る雫映る君

同 2年 千頭侑斗

早春の自分探しの旅に出る

同 2年 濱田拓人

早明浦湖パドル漕ぐ手に風あたる

同 2年 近藤楓真

寒鰯を買って捌いていただきます

同 1年 和田崇音

(※学校と学年は応募時のものです)

### 【当日句の部 入選】

父と娘と会話つまづく春の暮

本山町 川村智保



大会後、山田耕司氏  
から、本山町を詠んだ  
句が届きましたので、  
ご紹介します。

「吉延の棚田から、  
忘れ難い印象を授かり  
ました。山々をいそぎ  
くだる水が導かれ、田  
それぞれの形におさま  
る姿に豊かな安らぎを  
覚えたのです。」

田に満ちて眠たからむや水の春 耕司

父祖からの地を受け継ぎ耕し続けること  
は、多くの魂とともに生きること。その誇り  
を強く感じました。春は、霞。天地山川を大  
きく包んでいます。

耕すや生きをる者も霞みつつ 耕司

地域に根を張り生き続ける覚悟の方々が  
らっしやるからこそ、文学を含めた文化の花  
が咲き続けるのだらうと思います。全国俳句  
大会を営んでくださっている皆様、本山町に  
暮らす皆様に、感謝と敬意を捧げます。  
根から咲くすみれや句碑を従へて 耕司



MOTOYAMA

学校・育だより

Vol.203

こんにちは！嶺北中学校です。私たちの学校を紹介します。  
令和2年度から学校教育目標にあります「MIRAI」(未来)の開拓者を育成すべく日々、取り組みを進めています。

学校教育目標

# MIRAI☆開拓者の育成

## 目指す生徒像

夢を語り、  
変化に対応できる人間  
～自分で未来を切り拓く!!～

## 「MIRAI☆開拓者」に込めた思い

明治26年北海道開拓団として入植した高知県人約450人のうち、本山町出身者が300人余りと最も多く、<sup>さきやまひさえ</sup> <sup>まえたこまじ</sup> 崎山比佐衛や前田駒次らの「聖園農場」での成果が歴史の縁となり、浦白町と平成11年に友好交流町となりました。「北海道開拓スピリット」と本校が目指す生徒像「夢を語り、変化に対応できる人間」が重なる部分があり、学習指導要領で求められている「自分で未来を切り拓くことのできる生徒を育てる」ために、「MIRAI☆開拓者の育成」という学校教育目標を設定しました。

## 嶺北中学校の生徒に付けたい資質・能力=嶺北ACT

### 嶺北ACT

#### Action

主体性  
行動力  
自立力

#### Collaboration

コミュニケーション能力  
協働性

#### Thinking

課題解決力  
創造的思考力

#### 研究主題

確かな学力の向上と自分力(柔軟で強靱な心)の育成  
～教科横断的な視点に立った課題解決型授業の充実～



嶺北中学校キャラクター  
れいほくsun

## ひまわりspirit

ひまわりは、太陽に向かってすくすく成長していきますが、その過程にはさまざまな困難が立ちちはだかります。それを乗り越え、成長していく姿を生徒に例え、「ひまわりspirit」を掲げました。



令和7年度生徒会執行部です。ひまわりに負けないように一步一步確実に成長していきます。応援よろしくお願いします。



#### promise

約束

目標を立て自分に約束する。

#### process

過程

辛いことや厳しいことを乗り越える。

#### progress

進歩

一步一步良い方向へ進んでいく。

## ☆...6月の予定...☆

### ★吉野小★

- 6/ 3(火) 耳鼻科検診
- 6/ 4(水) 全国小学生歯みがき大会
- 6/ 5(木) プール洗い
- 6/16(月) クラブ
- 6/20(金) プール開き(参観日)
- 6/27(金) 全歯科指導

### ★本山保育所★

- 6/ 5(木) 歯科検診(全児)
- 6/12(木) 内科検診(幼児)
- 6/13(金) 0歳児測定
- 6/16(月) 避難訓練(地震・火災)
- 6/17(火) 折り紙交流(きりん組・本小2年生)
- 6/19(木) 内科検診・(乳児)
- 6/23(月) プールびらき

### ★本山小★

- 6/10(火) プール開き
- 6/13(金) 参観日(道徳)  
紙芝居祭り  
睡眠学習会
- 6/17(火) 折り紙交流(本山保きりん組・2年)
- 6/24(火) 避難訓練
- 6/27(金) 読み聞かせ

### ★子育て支援センター★

- 6/ 3(火) 絵本に親しもう
- 6/27(金) 作って遊ぼう(七夕飾り)



### ★嶺北中★

- 6/ 1(日) 香長土地区総体  
野球  
(土佐山田スタジアム)  
※6/7・8(土・日)  
予備日
- 6/ 2(月) 3年第2回実力テスト
- 6/ 3(火) 耳鼻科検診(1・3年)
- 6/ 7(土) 香長土地区総体  
バレーボール  
(野市青少年センター)  
バドミントン  
(大豊学園)
- 6/ 9(月) 選書会
- 6/11(水) 飲酒防止教室(2年)
- 6/16(月) 期末テスト発表
- 6/21(土) 嶺高祭
- 6/23~25(月~水) 期末テスト

### ★嶺北高校★

- 6/ 2(月)~4(水) 中間テスト
- 6/ 7(土)~8(日) 共通テスト  
模試(3年)
- 6/10(火) 交通安全街頭指導  
歯科検診
- 6/12(木) 生徒会役員選挙
- 6/13(金) 県内大学・企業見学(1・2年)  
福祉に関する学習(3年)
- 6/19(木) 嶺高祭準備
- 6/20(金) 嶺高祭プレ(校内)
- 6/21(土) 嶺高祭
- 6/26(木) 期末テスト発表  
【テスト:7/3~7/9  
※土日除く】